廿日市市消防職員の仕事紹介～大きなやりがい～

Q1. 廿日市市消防職員を目指したきっかけ、応募動機を教えてください。



入庁８年目

大野消防署
第一中隊所属

幼い頃、ドアに指を挟み、指が切断しかける大きなケガをしたことがありました。
その際、救急隊の方がすぐに駆けつけ、病院に到着するまで優しく声をかけてくださり、適切な病院へ搬送していただいたことで、現在も指の機能を保つことができています。
その時の安心感と感謝の気持ちは今でも忘れられず、私も困っている人に寄り添い、安心を届けられる消防士になりたいと思い目指すようになりました。

ある一日のスケジュール

8時00分　出勤
8時15分　反対番からの引継
8時30分　交代点検　車両及び資機材点検
9時15分　体操
9時30分　ミーティング
11時00分　救急出場
12時00分　昼休憩
14時00分　火災想定訓練
16時00分　出動報告書作成、事務処理
18時00分　夕食
19時00分　ミーティング
20時00分　体力錬成
21時00分　入浴(シャワー)
22時00分　警備勤務
24時00分　仮眠
6時30分　起床
7時00分　庁舎掃除、車両清掃、事務処理
8時00分　反対番への引継
8時30分　交代点検、退庁



これまで経験した部署

1年目	2年目	5年目
消防本部 総務課	廿日市消防署	大野消防署

Q2. 現在の所属の業務内容と担当業務を紹介してください。

現在は大野消防署に所属し、救急車、ポンプ車、救助工作車を運用する兼務隊（救急隊・警防隊）として勤務しています。主に機関員として活動しています。

救急業務では、主に急病人やケガ人のもとへ出場し、必要な応急処置を行ったうえで、適切な医療機関へ搬送しています。

警防業務では、主に火災出動や救急支援のため、救急隊と一緒に出動し活動しています。

また、大野消防署には専任の救助隊はありませんが、管内で救助事案が発生した際には、救助工作車で出動し救助活動にも従事しています。



Q3. 仕事のやりがいや経験談、今後の抱負を教えてください。

仕事のやりがいは、救急出場した際に、傷病者やご家族の方から「来てくれて安心した。ありがとう」と言っていただけることです。また、女性や子どもを対応した際に、同僚から「あなたがいてくれて助かった」と言われたことも、女性消防職員としてのやりがいを感じた出来事の一つです。

今後は救命士の資格を取得し、一人でも多くの命と安心を守ることができる消防職員を目指していきたいと考えています。

また、潜水士やドローン操縦士の資格を活かし、救助や災害対応など幅広い分野で活躍し、市民の安心・安全を守る消防職員を目指していきたいです。

Q4. お気に入りの休日の過ごし方はありますか？

基本非番（明けの日）はゆっくり家で過ごして体を休めていますが、週休の日はショッピングに出かけたり、ソロキャンプをしたりして、リフレッシュしています。

Q5. 廿日市市消防職員を志望している皆さんへのメッセージをお願いします！



消防の仕事は、体力的にも精神的にも大変なことがありますが、その分、大きなやりがいを感じられます。

消防士を目指している皆さん、ぜひ私たちと一緒に廿日市市の安心・安全を守っていきましょう！

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。